



# フードファクトリー NEWS

発行元:フードファクトリー事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2  
 大同生命霞が関ビル 4階 アテックス(株)内  
 TEL: 03-3503-7807  
 E-mail: office@f-sys.info  
<http://www.f-sys.info>

## 食品工場の設備改善に商機 規模拡大へ好発進

### 食品工場の自動化・省人化設備投資すすむ

食品工場における設備改善・業務効率化を提案する専門展、フードファクトリー(FE)が9月26日(水)から28日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催される。食品業界全体としての設備投資額は年々増大している。食品メーカーの旺盛な設備投資需要を背景に、今年のFEには販路拡大や食品業界への新規参入をねらう企業が次々出展を決めており、過去最大規模での開催が見込まれる。

### 工場の新設ラッシュ 設備投資が活発

食品業界では大手食品メーカーを筆頭に、工場の新設・改修の動きが加速している。商品開発への投資はもちろぬ、老朽施設の改修や、建て替えによる長期的なランニングコスト削減など、目的は多岐におよぶ。

こうした状況を踏まえ、食品工場・惣菜工場などへのシェア拡大をねらう企業が続々とフードファクトリー(FE)への出展を決めている。昨年のFEには「施設・工場管理部門の来場者が多かった」と特にエンジニアリング会社の評価は高い。日清エンジニアリング、中央設備エンジニアリング、日立プラントサービスは継続出展を決定。展示規模の拡大を視野に、各社積極的なPRを展開する。各社に遅れをとるまいと関連企業にも出展の動きが見られそうだ。

### 省エネ対策・コスト削減など 生産現場からの要望増

設備の老朽化や製造コストの削減など、製造現場では課題が絶えない。原材料や人件費も高騰するなか、コスト意識はこれまで以上に高まっている。食品メーカーの省エネ・省コスト化への取組を『特需』と捉える出展者も多い。

空調分野では、新しい顔ぶれが並ぶ。ダイキン工業は空調全般の省エネ提案や結露対策など、実際に設備に携わるエンドユーザーへのPRに意欲的。出展に向け最終調整している。木村工機は外気処理空調機等を展示予定。すでに実績のある厨房施設や食品工場へ向



### 自動化・省人化技術の ニーズ高まる

食品製造現場への自動化やロボット導入事例は着実に増加している。昨年初出展したマツダエースは工場内の自動仕分けを提案。FEのメイン会場層である食品工場・倉庫の現場担当者のニーズをしっかりと掴み、「業界へのパイプを作れた」と好感触を話す。本年は展示スペースを拡大しての出展を予定している。

IDECファクトリーソリューションズも増小間での出展を予定。同時開催展『SOUZAI JAPAN』の来場者も注力分野としており、出展を検討中だ。同分野での新規企業では、ダイヘンがクリーンロボットによる人手作業の自動化を提案する。自動化・ロボット分野の最新情報は来場者からの期待も大きく、本年も注目分野のひとつとなる。

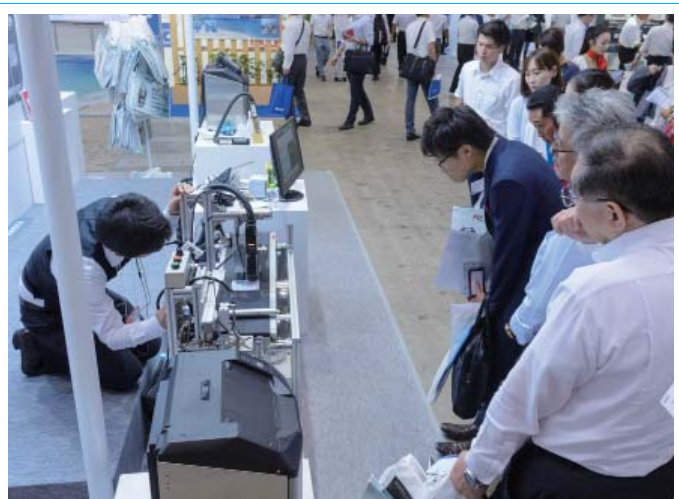
また、人手不足を背景に、従業員の負担軽減に関する情報に工場管理部門の関心が集まっている。サンステーションシステムズは、作業のしやすさを追及した移動棚を展示する。初出展となる本庄厨房機器製作所は、保管・収容が容易な作業台を提案。工場内の環境改善を求める声は多く、今後ますます注目のテーマとなりそうだ。



### 機器・部品メーカーも PRに手応え

ここ数年、工務部やエンジニアリング部といった、工場内の設備を担う部門からの来場が増えている。実際に機器の使用に関して、出展者が改善案や性能にかかわる要望を受けるといった例もみられる。昨年初出展した鶴見製作所は、「食品工場の各部門と接触することができ、エンドユーザーへのPRやニーズの発掘に効果を見出した」と本年も早々に出展を決定。昨年は高温配水管を展示した富士化工も、継続出展に向け準備を進めている。

ポンプやバルブといった機器・部品メーカーからの問い合わせも増えており、事務局ではこれらにフォーカスした展示ゾーンを設置。エンドユーザーとの交流を促していく。



### 自治体の企業誘致活動も盛ん

FEには、工場の新設・移設などに係わる経営・管理層の来場も多い。近年は自治体による食品工場誘致のPRも増している。昨年初出展した神戸市、沖縄県などは継続出展を予定。岡山県津山市や福島県伊達市など新たな自治体も、食品工場誘致に向けたPRを念頭に出展を検討している。食品工場のみならず物流倉庫などを誘致したいとしている自治体も多く、同時間開催『フードディストリビューション』との相乗効果も期待される。

### 同時開催展との 相乗効果

FEは食に関わる専門展示会と同時間開催する。食の安全をテーマとしたフードセーフティジャパン、大量調理・給食市場にフォーカスしたフードシステムソリューション、食品物流をテーマとしたフードディストリビューションがそれだ。同時開催により、給食センターやセントラルキッチン、物流倉庫の設備担当者が多数来場する。「普段の営業活動では接点の少ない企業との商談につながった」と、出展者からも好評だ。さらに、本年は伸長市場にフォーカスした中食・惣菜設備展(SOUZAI JAPAN)を初開催。フードファクトリーにとって、コンビニベンダーや惣菜工場など、設備投資が活発な来場層とのビジネスチャンスとなる。

### 出展申込締切は5月31日(木)

出展申込みの締め切りは5月31日(木)まで。1〜2小間の角小間指定受付が早くも終了するなど、出展申込のペースは例年にも増して早い。事務局では、出展に関心のある方は直接メール・電話等で連絡してほしいとしている。展示会の詳細については事務局まで。

